

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロニー児童デイサービスのぼりかわ発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日		令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 名	(回答者数) 16 名
○従業者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数) 9 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性やペースに合わせての支援	児童一人ひとりと向き合い、その児童らしい成長を育むことが出来るように支援しています。児童の不穏時や問題行動に対して特性や背景を考えることを心がけ、児童が気持ちよく、楽しく笑顔で過ごせる方向に気持ちの切り替えが出来る様に心がけています。	児童、保護者が安心して利用して頂けるように職員研修を増やしてより良い支援が出来るようにしています。
2	保護者への説明・相談・面談・アドバイスの要望があったタイミングですぐに応じることが出来る。 (児童に対する困り感や移行支援への不安など)	保護者と送迎対応時に、ご家庭や事業所での普段の様子を連携している。普段から要望があれば管理者に報告し、すぐに連携が取れるようにしている。	新人職員が多く占めているので、職員間での支援内容の共有を取り、丁寧な保護者説明や支援ができるように研修機会を増やしていきたい。
3	活動スペースが広く伸び伸びと活動に参加できる。	活動スペースが広いので全体活動も伸び伸びと参加できる。 (リトミック、体育遊び、イス取りゲームなど) 児童の特性や年齢に合わせて個別活動を分け集中して参加する環境を作ることができる。(制作活動、お絵かき、)	今後、広い活動スペースを生かして地域住民や施設を招待して地域交流としてイベントの場として活用したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出支援の固定化	外出支援の曜日に利用する回数が少ない。 保護者より要望があり、利用児童の急な休み時に連絡し参加する回数を増やしていた。	利用人数や職員体制の説明だけではなく、外出支援に参加できるように利用児童の急な休み時や職員体制を確認し、利用出来る時はすぐに連絡し参加できる回数を増やすように心がける。
2	地域交流	地域住民や自治体との繋がりがなくイベントへの参加・招待を検討する段階にない。	現在、自治体へのハロウィンイベントへの協力して頂き、また児童が制作した感謝状を贈呈するなど自治体との交流を深めている。 今年から、保育園との交流会を保育園・事業所で行うことが出来ているため継続・他施設とも交流を増やしていきたい。
3	避難訓練や緊急時マニュアルの周知	避難訓練時の利用児童への報告に止まっていた為、周知出来ていなかった。	アプリを通して全体通知を行い全利用者の保護者に周知出来る様にする。